

令和4年度第1回 長野市総合計画審議会 会議録

日 時：令和4年11月9日（水） 午後3時30分から午後4時45分まで

場 所：講堂（第二庁舎10階）

出席者：委 員/ 荒井委員（リモート出席）、市村委員、伊藤委員、大日方委員、金物委員、熊井委員、清水委員、轟委員、廣田委員、藤原委員、宮沢委員
（欠席 青柳委員、池尻委員、川北委員、萱津委員、黒岩委員、小木曾委員、梅干野委員、牧野委員、横地委員）

長野市/ 池田総務部長、下平企画政策部長、卯田財政部長、宮岡地域・市民生活部長、中澤保健福祉部長、越野健康課課長補佐、日台こども未来部長、安塚環境部長、小松商工労働課課長補佐、青木新産業創造推進局長、小林文化スポーツ振興部長、櫻井農林部長、横田建設部長、桑原都市計画課長、西山会計局長、藤澤教育次長（行政）、勝野教育次長（教育）、町田上下水道局長、小田切消防局参事、久保田議事調査課長、村上危機管理防災監
事務局/（企画課）望月課長、市村課長補佐、久保課長補佐、上原係長、板倉主査、飛澤主査

1 開会

（事務局）

定刻より少し早いですが、皆様おそろいなので、ただいまから長野市総合計画審議会を開会いたします。

私は企画課課長補佐の市村と申します。よろしくお願いいたします。

本日の資料の確認をお願いいたします。事前にお送りいたしました次第と資料1、資料2に加えまして、本日机の上に置かせていただきました座席表、部局長名簿、後期基本計画の概要版と本編の冊子をお配りしてあります。不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

次に、令和4年4月1日付けの人事異動により、部局長が一部へ変わっております。時間の都合上、名簿上のみでのご紹介とさせていただきます。本日配付いたしました長野市部局長名簿の備考欄に、（新任）と記載のある部局長が異動のありました部局長になります。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日は、青柳委員、池尻委員、川北委員、萱津委員、黒岩委員、小木曾委員、梅干野委員、牧野委員、横地委員から欠席のご連絡をいただいております。また、新井委員におかれましてはリモートによりご出席いただきます。

それでは開会にあたりまして、今年25日に、二期4年の任期満了を迎えられる審議会委員の皆様、市長から御礼のごあいさつを申し上げます。

2 市長あいさつ

(荻原市長)

皆様こんにちは。金物会長をはじめといたします委員の皆様には、平成30年の11月26日にご就任をいただいて以来、二期4年間にわたりまして、第五次長野市総合計画後期基本計画の策定を初め、まち・ひと・しごと創生総合戦略の延長、またそれぞれの進捗管理にご尽力をいただきましたこと、心から御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

後期基本計画策定に関しましては、令和2年の10月12日に諮問を申し上げさせていただき、本年2月8日に答申をいただくまでの間、金物会長を中心に7回にわたりまして、ご審議をいただきました。

後期基本計画を今年度から、無事スタートできましたことも、皆様の熱心なご審議の賜物でございまして、重ねて御礼を申し上げたいと思います。

その後期基本計画におきましては、私の公約につきましても、反映をしていただいておりますことを御礼申し上げたいと思います。

計画のスタートでもあります今年度の予算におきましては、私が特に力を入れております、子育て支援、新産業の創出、災害復興、新型コロナウイルス感染症対策を中心に、公約のおよそ8割を予算化させていただくことができしております。

これによりまして、こども総合支援センターの開設であるとか、ビックプレミアム商品券の発行、またパートナーシップ宣誓制度の導入など、全庁挙げて取り組みを進めさせていただいております。

また、来年度の予算編成に向けましても、新規・拡大事業として健幸増進都市の推進やスマートシティの実現、ウィズコロナ・アフターコロナに向けました事業を中心に検討を進めております。

今後も後期基本計画をベースに施策を進めまして、まちの将来像として掲げます、「幸せ実感都市ながの」の実現に向けて全力で取り組んで参りたいと思います。

25日に任期を迎えるにあたりまして、会議は本日が最終回となりますけれども、皆様方におかれましては、本審議会の委員を退任されました後におきましても、本市の発展のために何卒、お力添えをいただければと思っております。

皆様方の今後ますますのご活躍ご健勝をお祈り申し上げまして、御礼のごあいさつとさせていただきます。

本当にいろいろお世話なりましたありがとうございます。

3 会長あいさつ

(事務局)

続きまして金物会長からごあいさつをお願いいたします。

(金物会長)

本日は、今年度第1回目の会議ということで、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

先ほど、市長さんから御礼の言葉をいただきましたけれども、今月25日に、総合計画審議会委員の任期を迎えます。この間途中で交代された委員さんもいらっしゃいますけれども、二期4年の中で、後期基本計画の策定や、総合計画、総合戦略の進捗管理などを審議する中で、委員の皆さんには、積極的に発言をいただきながら、審議会の運営にご協力いただいたこと、議事の進行を務めさせていただいた会長の立場からも御礼を申し上げます。

特に大きな役割だった後期基本計画の策定作業を振り返ってみますと、少子高齢化が更に進む中、令和元年にありました台風19号による東日本台風災害や、その後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、社会情勢やこれまでの価値観が大きく変わったほか、スマートフォンや5Gなどの普及により、社会全体としてデジタル化による利便性向上や地域課題の解決が期待されるなど、時代の転換期というべき中での審議となりました。

これらは特定の政策ではなく、どの分野にも関連するために、今後5年間の施策を取りまとめる上では、「計画全体に共通する取り組み」として整理させていただき、後期基本計画の特徴の一つとなりました。

今後、後期基本計画の施策を進め、まちの将来像である「幸せ実感都市ながの」を目指す上でも、時代や社会の変化の波をとらえて、市政を進めていっていただきたいと思います。

本日の会議の予定としましては、議事として第五次総合計画前期基本計画とまち・ひと・しごと総合創生総合戦略、それぞれの令和3年度の進捗状況となっております。

また、審議の最後には、これまでの任期の中で、第五次総合計画後期基本計画の策定に携わったご感想や、今後の計画策定に関するご意見など、委員の皆さんから、一言ずつご発言をいただければと考えておりますので、審議の内容を含め、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

以上でございます。

3 議事

(事務局)

ありがとうございました。市長は別の公務がありますので、ここで退席させていただきます。ご了承ください。

それでは議事に移らせていただきます。議長につきましては、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第六条第1項に基づき、金物会長にお願いします。

また、議事において、委員の皆様が発言される場合は、お手数ですが、挙手していただき議長から示されましたら、お手元のマイクのボタンを押していただき、緑のランプが点いたのを確認した上で発言をお願いします。

そして発言が終わりましたら、またボタン押して切っていただくようお願いいたしま

す。それでは会長よろしくお願ひいたします。

(金物会長)

それでは議事に入りたいと思います。

次第4 議事の(1)「第五次長野市総合計画前期基本計画 令和3年度の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

望月企画課長より、資料1に基づき「第五次長野市総合計画前期基本計画 令和3年度の進捗状況について」説明。併せて「第五次長野市総合計画後期基本計画冊子」についても説明

(金物会長)

ただいま事務局より、第五次長野市総合計画前期基本計画 令和3年度の進捗状況について、ご説明ありました。ご意見、ご質問等あれば、お願ひいたします。

また後期基本計画の概要版として非常にかわいくて、読みやすい冊子を作ってくださいまして、これについても質問でも結構です。御意見、御質問があればお願ひいたします。

(金物会長)

轟委員お願ひします。

(轟委員)

長野高専轟です。1点教えていただきたいのですが、アンケート指標と統計指標の二つのご説明をいただいたのですが、アンケート指標の目標値が5年平均になっているのに対して、統計指標は令和3年度の単年度の結果を見ているかと思うのですが、なぜそのような違いをつけているのかを教えてくださいたいと思います。

(望月企画課長)

アンケート指標につきましては毎年度6,000名を対象にした調査の結果としております。

これはあくまでも、アンケートに回答いただいた方ご自身の主観でお答えをいただいているというところがございます、そういったことから、5年間の平均値をとって、市民の皆さんの意識を確認させていただいているという状況でございます。

また統計指標の方でございますけれども、これらにつきましては、実績が積み重なって参った結果が令和3年度の統計指標ということで捉えておりますので、令和3年の単年度の結果で判断をしております。

(轟委員)

わかりました。アンケートも6,000人を取られているのであれば、統計的には単年度で見ても比較的有意な結果が得られるのかなと思います。そのあたりが、統計の見方とアンケートの見方で違いがあると、何故だろうという感じも受けたので、単年度で見てもやっぱりアンケート指標は、厳しい結果だったのですかね。

平均をとった場合と、最終年度というようなところで、二つの切り口で見えていただくのいいのかなというふうに思いました。

(金物会長)

他にどなたかご質問ございますでしょうか。よろしいですか。

(金物会長)

それでは前期基本計画から目標値は変わってはいますものの、指標自体は引き継いでおりますので、ただいま説明いただいた前期の振り返りも含めた上で、後期基本計画の目標達成に向けて、引き続き取り組みを進めていただくようお願いいたします。

それでは第五次長野市総合計画前期基本計画、令和3年度進捗状況については以上とさせていただきます。

続いて、次第3、議事の(2)「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

望月企画課長より、資料2に基づき「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度の進捗状況について」説明。

(金物会長)

ただいま、長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度の進捗状況と交付金の実施状況等について説明がありました。ご意見、ご質問あればお願いいたします。

清水委員どうぞ。

(清水委員)

清水ですよろしく申し上げます。

先ほど、前期基本計画の令和3年度の進捗状況をお聞きして、そのあと、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況をお聞きする中で、コロナだから達成できなかったという言葉が多くあったと思っています。

それで、この進捗状況をパッと見て、成績表に見えたんですね。

その時に、行政は本当に何もしてなかったわけでは全然なくて、コロナだからこそ、達成できないことがあったけれども、行政だからこそできたことがあって、しかもものすごく寝ないでも頑張った人たちも数多くいらっしゃるはずで、おそらくこの中にもたくさんいらっしゃるはずです。

コロナだから達成できなかったということはもちろん正しいと思うんですけども、この基本計画以外に、「行政はこの緊急事態に、こういうことをやったんですよ」という言葉をもらえると、一市民として、この長野市で生きていくことが安心できるなと思えるなと思いました。

直接この計画とは関係ないかもしれませんが、ぜひ皆さんが本当に頑張っていたいただいたことを、私たちにまた教えていただく機会があるとうれしいなと思いました。

(下平企画政策部長)

本当に私たちとしても励みになる言葉を頂戴いたしまして、ありがとうございます。

おっしゃる通り、こちらに関しましては、それぞれの計画の中で指標設定というところがございます。コロナという要因がございましたが、先ほどのアンケート指標の結果を踏まえると、市民の皆さんの受け止めというところもございますので、そこはそこで真摯に受けとめた上で、今後の施策展開に生かしていきたいと思えます。

また、コロナそして台風災害も含めて非常にダメージを受けた中で、いろんな施策を新たに展開している部分もございます。

これについては、災害復興それからコロナからの復興という部分で、それなりの検証のうえ庁内でも取りまとめをしていかなければと思っていますし、それも踏まえながら施策を進めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

(金物会長)

よろしいでしょうか。

評価に対する表現の仕方を少し工夫していただくということでしょうかね。

(清水委員)

はい。

(金物会長)

その他にございますでしょうか。

特にございませんでしたら、次に進めさせていただきます。

それでは総合戦略については、総合計画後期基本計画に統合して、分野横断テーマとしましたけれども、2060年の人口30万人確保に向けた社会増減の移動均衡や県民希望出生率の達成に向けて、引き続き取り組みを進めていただくようお願いいたします。

それでは、長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度進捗状況については、以上とさせていただきます。

続いて、議事の（3）その他になります。

審議会委員の任期が今月25日で満了を迎えることから、総合計画審議会をこのメンバーで開催するのは、今回が最後となります。

これまでの任期の中で、第五次総合計画後期基本計画の策定に携わったご感想や、今後の計画策定に関するご意見等、何でも結構ですので、全員の方に一言ずつご発言をいただきたいと思います。

時間の都合もありますので、恐れ入りますけれども、おひとり2分以内ということでお願いいたします。

それでは荒井委員から始まって、次は伊藤委員という順で反時計周りで順番にご発言をお願いします。

荒井委員をお願いします。

（荒井委員）

今回も前後の仕事の関係でオンラインでの参加を認めていただき、ありがとうございます。

感想といいますか所感でありますけれども、4点ほどあります。

一つ目は主に教育・文化分野について意見をさせていただきましたけれども、毎回様々な資料・データ等を用意していただき、大変な作業だったかと思いますが真摯にご対応いただきありがとうございます。

2点目と3点目に関しては今後の課題ということで、ぜひお伝えできればなと思っております。数値目標やKPIに基づく進捗状況の管理を今日もご報告いただきましたけれども、これはそのこと自体が目的というよりは、その物差しを使って、なぜその結果になったのかということ振り返るとも重要な機会になるかと思っておりますので、数値の変動の理由をそれぞれ、改めて検討していくということが必要ではないかなと感じています。

3点目は、改めて今後のことを考えますと、今設定している指標がそもそも適切なのかという議論や、あるいはそこでの数値目標の設定が、一律的に5ポイント上乘せといったレベルのもので果たしていいのかということで、先ほどのご発言にもありましたけれども、せっかくの様々な努力がこういった数字というものによって切り取られてしまう部分もありますので、改めて指標自体の設定と数値目標の設定についてもご検討いただけたらと思っております。

最後は、これらはなかなか市民の方々に、様々なデータ量で伝わりにくい部分もあるかと思っておりますので、引き続き市民の方の理解を得るための努力を、私も含めてになりますが続けていかれることをぜひお願いしたいと思っております。

(金物会長)

ありがとうございました。

続いて、伊藤委員よろしく申し上げます。

(伊藤委員)

伊藤です。

後期計画の策定にあたって、市の皆さんにはいろいろと協力していただいたほか、大変なこの資料をまとめていただき、ありがとうございました。

計画を立てる中では多岐な項目に渡って評価点を設けていて、これを全部達成は最初からできないと思うのですが、これだけの多くのポイントを目標として立てられていたら大変だなと思います。また、この達成に向けて市の皆さんがご尽力いただければ、長野市はもっと良い街になるのではないかと考えております。

この後期計画とはちょっと話ずれる、もしくはこの計画の一環かもしれませんが、市中心街の再開発の話が新聞に出ていまして、これも、市自体の魅力を高めるという意味では非常に大事なことだと思います。

当然、商店街や商工会の方も、今の街のままでは良くないとおそらく考えていらっしやっつて、この計画を立てられたと思います。

長野駅の東口整備はおそらく 40 年から 50 年という長期に渡った大事業だったと思いますが、この事業も長期に渡る事業になると思います。市の中心街の再開発という大事業ですので、今後とも市の職員の皆さんにご尽力いただくようお願いをいたします。

(金物会長)

はい、ありがとうございました。

それでは、大日方委員、よろしく申し上げます。

(大日方委員)

大日方です。

縁あってお声がけいただいて応募させていただいたときに、妊娠がわかりまして、その間に生まれた子供が先日 3 歳になりました。長い間、あつという間に経ってしまったなという印象です。

その間に、市役所の方々と個別にワークショップなどでお話をうかがったり、私は専門がありませんでしたが、他の委員さん方のお話を聞く中で、いろいろな想いですとか背景を知ることができて、勉強になったなということがあります。

先ほどからお話に出ているように、総合計画はとても短くまとめなければいけなかったり、どうしても評価をしなければいけないという側面があるため、端的にまとめる必要性はあるのですが、その言葉一つだとか、数字一つの中に、どんな背景とかどんな想いがあるの

かを、私は普段、市役所の方々といろいろな事業をやる仕事をしていますが、市の現場レベルの方々とも一緒に認識したりだとか、私たち市民も、もっとこういう言葉の中にどういう背景やビジョンがあるのかということを知らなければいけないかなという思いはありまして、そういう方法をどうやってやったらいいのかはまだ分からないのですが、そういった工夫を今後も続けていっていただけると嬉しいなと思います。

(金物会長)

ありがとうございます。熊井委員、よろしくお願ひします。

(熊井委員)

今回の施策の中で、分野6-3の自然環境の森林の保全、それから資源の有効活用について、一つのサイトチェックをしました。というのは、長野は随分、森林が多いんですね。

森林が多い中で、特に七二会地区というのは非常に森林の豊富なところなんです。私も驚いたのですが、ここに福寿草の園地が開発されたんです。

これはまさしくこの6-3のターゲットに、成功した例じゃないかと思うんです。

森林の間伐を利用して、そこから出てきた野草を育て、福寿草の、多分東日本ではここが一番広大な土地はないでしょうか。そういうものがちゃんと作られている。

市役所でも全面的な協力とサポートをされていると思いますけれども、現実のそういうサイトチェックをすることによって、それがわかったという事例がありました。

今後のビジョンですけれども、実は私先週ニューヨークに行ってきました。1週間ほど、ちょうどコロナの影響も少なくなったので行ってきたんですけれども、ニューヨークの場合は、二つの川があるんですね。イーストリバーとハドソンリバー、よく長野に似ているんです。長野は千曲川と裾花川がある。その真ん中に街がある。

ニューヨークの場合にはセントラルパークという大きな市民の憩いの場があつてこれが市民の健康の一つの糧になっているわけです。

ですから、分野で言えば2-4-1ですね。健康を自助努力によって保つていこうと、こういう自然の姿がありながら、周りのビルの仕事をした後の休養の場所がスポーツの一種のハビットスタッキング(習慣の積み重ね)と専門用語では言いますが、歩きながら自分の健康状態を自分で管理するというところがあります。

長野にもよく似た名前があります。セントラルスクウェアとか、それから東和田公園の芝生の広場など、これからのまちづくりの中にそういう市民が気軽に運動ができるような場所も作っていただくことができたと思います。

また、アメリカには、街にベンチが多くあります。ベンチはほとんどが市民の寄付によって作られていて、よく見るとそのベンチに名前が書いてあるんです。

要は、お墓ですね。私の愛する方が亡くなった一つの記念として、Rest In Peace ~という言葉があり、そこに名前が示されている。そういった寄付がベンチをつくり、ベンチが市

民の憩いの場所の一つになっているという、そういう事例はアメリカの一つの原点なのかと思っています。

ぜひ、今後の参考にさせていただきたいと思います。

(金物会長)

ありがとうございます。清水委員、よろしくお願いします。

(清水委員)

皆様、本当にこの期間ありがとうございました。

私はこういうふうに静かに話しているところを外から聞かれるのがすごく苦手で、なので職員の皆さんと小さなグループでワークショップをした時があり、それが本当に人として話ができている気がして、すごく嬉しかったし、自分自身がこれを大事にしているんだということを、しっかりお話ができました。

職員の皆さんからも、自分は一市民としてこう思っているんだということを聞かせていただいて、私にとっては、あの時間が重なって行って、この計画ができ上がっていたら、何て素敵なんだろうと思っていました。

残念ながら、きっとコロナ禍でそれができなくなってしまったんだと思いますが、今後計画を作成していくときには、そのように顔がわかる関係性で、私たちと職員の皆さんでお話をして、計画が立てられていくと、より味があって、より人間ばいが計画ができ上がると思っていますので、楽しみにしています。

あのグループで懇親会に行けばよかったなって、今思っています。

(金物会長)

ありがとうございます。宮沢委員、よろしくお願いします。

(宮沢委員)

宮沢です。ありがとうございました。

清水委員がおっしゃっていたみたいに、そのワークショップ形式で皆さんとお話した時が、本当にこちらの話もすごく聞いていただくと意見を言いやすい雰囲気、市政について一市民の意見を言えているなという感覚もありすごく楽しかったです。

その中で皆さんのお話聞いていると、感情の部分と、やらなきゃいけないことは違うなというところをすごく感じました。これだけ多くの施策を一斉に進めている中で、一市民としても我慢しなきゃいけないところとか、譲らなきゃいけないところがそれぞれあるなということを感じました。

また、指標の数字もありますが、そこを厳しく達成してないというよりも、少し緩やかに流動的に、皆さんで許していきながら、時代の流れに沿って計画を策定していただければと

思いました。

特に先ほどお話のあった総合戦略の中の目標3に「夢や希望持つ児童・生徒の割合」という指標がありますが、今の子供は割と将来何なりしたいとかそういうカチっとした目標を立てるっていう雰囲気でもなく、それが悪いことでは全然ないと思っています。これだけ時代も変わっていく中で、例えば、お花屋さんになるとか弁護士になるって決めて進むのも素敵ですが、そういう時代でもないのかなというところがあるので、評価が「D」だったから良くなかったとかではなく、皆さんがおっしゃったようにその裏の意味を感じ取れるようにしていきたいなと思いました。

あと、自分でできることとしたら、とてもわかりやすい資料作っていただいたので、子供が5人いますので、こういった資料が配られてきたら、周りの子も巻き込みながら少しでも市政や地域のことに興味持ってもらうことで、結果的に子供たちの意識も変わっていくのではないかと思いました。

(金物会長)

ありがとうございます。藤原委員、よろしくお願いします。

(藤原委員)

本当にあつという間の4年間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございます。

普段市役所の方と接する機会がありますが、これだけの施策を市街地だけではなくて、多様なエリアがあるような場所で、まとめていただいているというところに対して感動したというか、すごい仕事をされているなど改めて感じました。

全体もそうですし、今回のこの資料をまとめたりだとか、各審議会の中でも、他の業務がある中でやられていたことも多かったのかなと思いますので、その部分の市役所皆さん熱量みたいなものをすごく感じられたのが、一番の個人的な大きな気づきであり、今回4年間、ご一緒させられてよかったと思っています。

その中で今後に向けてというところで、この審議会というものの自体の効果とか、これだけいろんな方々が集まってきてる中で、それをどう生かすかというところについては、もっと考えていくべきことがあると思っています。

というのも先ほど指標の妥当性みたいな話があったとおり、例えば移住一つで見ても、人の人生変えるってなかなか難しい話である中で、だからこそ、様々な外部との協働といった話が起きてきているのかなと思っています。

ですので、審議会のプロセス自体も、実は外部ともっと協働していったりだとか、ワークショップの話もそうですけれども、デザインできる幅はすごく増えてるのかなと思っています。

人口減少というこれまでどうやって解決していけばよいか分からない課題がある中だけ

からこそ、もっと市民と連携していくための審議会を作っていくという視点で、プロセスや審議会の4年間の流れのデザインなどを外部と作っていくということを今後やっていけたら、それこそ計画を読んで、もっとこのまちに住みたい、ここに移住したいとなるような計画を作っていけるような未来を描けたらいいのかなというのは思っていました。

本当に極論になってしまいますが、オンライン化になっていく中で、資料見て意見を言うだけであれば、それこそメール一本で済んじゃう話かもしれない中で、これだけ役職の方いろいろ集まってきて、外部の方も集まってきている中で開催するからこそ、最大効果のある審議会のデザインみたいなことを、次回の計画に向けて、もし何か私の力になることがあればと思いますし、今回参加していただいた皆さん含めて考えていけるといいのかなというのは、非常に強く思いました。

(金物会長)

ありがとうございました。廣田委員、よろしくお願いします。

(廣田委員)

廣田です。NPOに携わる立場で長期的にこういった貴重な機会をいただきまして、改めましてありがとうございます。

市政を学ばせていただく中で、コロナ禍で市民の生活スタイルが大きく変化してきたのかなと思っています。ただ、そういったところで、地域に目を向ける機会にもなったのかなと感じています。

一方で、様々な機会が失われてきたことによって起きる弊害というのは、長期にわたって見えてくるかと思います。先日も不登校児が全国で増えてきたですとか、出生率が下がってきているといったようなところで、将来に向けて大きな影響が出てくる時代になってくる中で、市民一人ひとりの生活に目を向けながら、地域力でそれを支えていけるような仕組みづくりを、民間も一緒になってできていくと良いのかなと感じています。

そのためには、柔軟な施策転換ということも必要になってくるのではないかなと感じています。若い世代が、夢や目標をもって欲しいなっていう親心もありますので、そういった地域づくりを一緒になってやっていけたらと思っております。

(金物会長)

ありがとうございます。轟委員よろしくお願いします。

(轟委員)

轟です。

私自身この審議委員会の委員をお受けした時に、一番大切にしたいのは後期計画の一番のテーマである分野の横断テーマにあると思うんですけども、これをいかにそれぞれの

施策と紐づけて考えていくことができるのかというところを整理していくことが大切です
よということを、会議の中でも何度かお話をさせていただきました。

個別の施策の積み上げが、その大きな目標を達成するということが、とても大切なのかな
と思ひまして、そのような発言をさせていただきました。職員の皆さんにご苦勞いただき、
かわいりんごのマークでお示しをいただき、とても見やすくなったなど感じています。

長野市ぐらいの都市規模になりますと、どうしても総花的なものになってしまうという
ことは避けられないかなと思っています。そういう中で、しっかりとP D C Aだとか、K P
Iをしっかりとやっていこうよという話になってしまうと、結果的に、先ほど総合戦略の数値
目標のところの進捗評価で「D」となっているところがあり、でも個別の施策を見ていくと、
「A」のものもあつたりもして、今回で言う横断テーマと個別の施策の紐づけは、これだけ
審議会で議論しても、答えはないなというところを改めて感じたところです。

ですので、それだけ難しいことにチャレンジしているというようなところで、とても私自
身もいい経験ができたかなと思っています。

とはいえ、これまで長野市では、基本計画第五次まで積み上げているという中で、毎年
のようにここの数値が上がってこないよねというところですか、毎年のようにここの部分
は達成できているよねっていうようなところを、しっかりと整理していくということも大
事かなと思ひました。

あと、先ほど他の委員さんの発言にもあつたとおり、どうしてもこういう統計指標で見
てしまうと、ざっくりこう全体的な数字で見ってしまうので、実は、小さなチャレンジをしたん
だけれども、うまくいかなかったけれども経験できたようだとか、すごい小さいことだけ
どもこんなところで成功できたんだよといったこともたくさんあると思うので、そうい
ったものを拾えるような仕組みも大切かなと思ひました。

長野高専の私の学科だと40名の卒業生がいますが、そういったことがあるからこそ、毎
年のように長野市に行きたいですという学生がいます。

小さな魅力みたいなものの積み重ねが、学生自身が長野市の職員になりたいんだとい
う気持ちに繋がっているのかなと思いますので、ぜひそういった点も、多くの方々に知って
いただくような、そういう計画に、今後どんどんどんどん成長していただきたいと思います
と感じました。

(金物会長)

ありがとうございました。市村副会長よろしくお願ひします。

(市村副会長)

市村です。この4年間をとありがとうございました。

金物会長を初め各委員さんの意見が反映されまして、後期基本計画策定され、各施策が実
現に向けて動き始めたということで、よかつたと思ひしております。

また、この審議会にあたりまして企画課方々、職員の方もたくさんの資料づくりや、グループワークの時のリーダーシップで、本当素晴らしいなと思いました。

先ほど望月課長の方からありましたけど、この概要版を見せていただいて、とてもわかりやすく感じました。私もまだ観光関係の仕事に携わっているわけですが、市でやるとなるとハードルが高い感じになりがちなところがあると思いますが、職場でもそうですし、関係のところの方にもこんな動きあるよっていうことを、私自身も業務の中に取り入れながら進めていきたいなと思ったところです。

(金物会長)

ありがとうございました。

それでは最後に私の方からになりますが、私もこれまで4年間、会長という大役を務めさせていただいて、本当に各委員の皆さんには、忌憚ないご意見、それから適切なご意見いただいて本当に助かりました。

私たちの主な仕事は第五次総合計画の後期基本計画の策定ということでしたが、その策定の作業の中でも、先ほど清水委員や宮沢委員がおっしゃっていたようにワークショップが非常に意義があり、楽しく参加させていただいたというところで、私も同意見でした。

ああいった取り組みは意見も出しやすく、活発な議論になったため、次の機会に生かしていただければと思います。

それから、我々の任務は、計画を立てることもそうですが、立てた計画の評価ですよ。

今日の進捗状況の報告にもありますけども、評価については、先ほど荒井委員さんもおっしゃっていましたが、指標の設定や評価は非常に難しいですけれども、その評価が次のステップを生むものですので、それを大事にして、先ほどのコロナのためという言葉の使い方もありますけども、ぜひ適切な評価をしながら、先へ進んでいただければと思います。

言葉足らずですけども会長として盛り立てていただき本当に皆さんありがとうございました。

これで予定しておりました会議の協議事項は以上となります。委員の皆様から全体を通じてご意見等ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。それでは事務局にお返ししますので、お願いします。

(事務局)

会長進行ありがとうございました。

それでは次第5の閉会となりますが、企画政策部長の下平から、閉会のご挨拶をさせていただきます。

(下平企画政策部長)

ただいまは委員さんお一人おひとりから、非常に温かいお言葉と、貴重なご助言いただきまして大変ありがとうございました。

特に会長もおっしゃっておられましたけども、お話お聞きする中で、目標管理だけではなくて、その背景といったものを、みんなで共有していくことが大事なんじゃないかということですか、またワークショップが有意義であり、その中で市民の皆さんと、職員とが想いを会話し合って議論できたのがよかったというようなところで、大変示唆に富むお言葉を頂戴し、ありがとうございました。行政としても大変支えになると感じております。

5年間の計画ということで非常にスパンの長い、しかも市の施策の舵取りを担うような計画でございますけれども、今は時代の変化が非常に速く、特にコロナも含めて世の中が大分大きく変わっている部分もございますので、今後は柔軟に取り組んでいく必要もあるのではと考えております。

また、その際には市民の皆さんと想いを共有しながらやっていくことが重要であると感じたところでございます。

委員の皆様におかれまして本当に2期4年という非常に長い期間、計画策定に携わっていただきまして、また、熱い議論を交わしていただきましたこと大変感謝申し上げます。

市長の冒頭の挨拶でもございましたが、これが終わりということではなく、これを機会にまたぜひ市政にいろいろなご助言を賜りたいと思いますし、今後も協力を賜りたいと思いますので、今後ともぜひよろしくお願いいたします。

長い間本当にありがとうございました。

これを持ちましてこの総合計画審議会を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。